

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(2,632)	(負債の部)	(502)
流動資産	1,652	流動負債	237
現金及び預金	1	買掛金	56
売掛金	264	未払金	49
商品及び製品	230	未払費用	118
原材料及び貯蔵品	357	未払法人税等	5
仕掛品	105	その他	6
短期貸付金	646		
一年以内回収長期貸付金	-	固定負債	265
未収金	45	退職給付引当金	250
繰延税金資産	-	その他	14
その他	0		
		(純資産の部)	(2,130)
固定資産	980	株主資本	2,130
有形固定資産	723	資本金	110
建物	465	利益剰余金	2,020
構築物	7	利益準備金	27
機械及び装置	132	その他利益剰余金	1,992
車両運搬具	0	繰越利益剰余金	2,020
工具、器具及び備品	46		
建設仮勘定	70		
無形固定資産	0		
投資その他の資産	257		
繰延税金資産	236		
その他	20		
合 計	2,632	合 計	2,632

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 棚卸の評価基準及び評価方法

製品、仕掛品	総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
原材料及び貯蔵品	総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産

定額法
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10年～50年
機械及び装置	4年～50年

2) 無形固定資産 定額法

3. 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、カーエレクトロニクス及び通信機器向けに使用される、セラミックスを素材とした低温焼成基板及び材料の製造販売を主たる事業として行っております。製品販売については、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しておりますが、当該製品の出荷から引渡までが通常の期間内であるため、当該製品の出荷時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、返品を控除した金額で測定しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- 1) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 2) 当社はグループ通算制度を適用しております。

(当期純損失金額)

当期純損失 70 百万円